

日商簿記3級 頻出論点だけで合格ライン講座

第2回 追加問題集

仕訳の超頻出13パターン①(パターン1～6)

動画内の演習よりも問題数を増やし、内容を定着させるための問題集です。各大問は「問題ページ」の直後に「解答・解説ページ」を置いています。動画を見た後、この問題集だけで一通り復習できるように作っています。パターン7～13の追加問題は第3回の問題集で扱います。

- ・ 大問1 仕訳(1) 商品売買・現金過不足・当座預金・売掛金買掛金・前受金前払金・手形・クレジット売掛金(14問)
- ・ 大問2 複合・応用の仕訳にチャレンジ(4問)

大問1 仕訳(1)

次の取引を仕訳しなさい。「借方」「貸方」の欄に科目と金額を書き込みましょう。

No	取引	借方	貸方
1	商品70,000円を仕入れ、代金は掛けとした。引取運賃3,000円は現金で支払った		
2	商品90,000円を売り上げ、代金は掛けとした。発送費2,000円(当社負担)は現金で支払った		
3	現金の実際有高が帳簿残高より4,000円多いことが判明した		
4	商品55,000円を仕入れ、代金は小切手を振り出して支払った		
5	得意先へ商品100,000円を売り上げ、代金は掛けとした		
6	上記5の売掛金100,000円を、現金で回収した		
7	商品120,000円を売り上げ、代金として得意先振出の約束手形を受け取った		
8	買掛金50,000円について、電子記録債務の発生記録を行った		
9	商品15,000円をクレジット払い条件で販売した。信販会社への手数料(販売代金の4%)は販売時に計上する		
10	上記3の現金過不足4,000円のうち、3,000円は受取手数料の記帳漏れであることが判明した。残額は雑益として処理する		
11	得意先から商品150,000円の注文を受け、手付金として30,000円を現金で受け取った		
12	上記11の商品を引き渡し、代金の残額120,000円は掛けとした		
13	仕入先に商品90,000円を注文し、手付金として10,000円を現金で支払った		
14	上記13の商品を受け取り、代金の残額80,000円は掛けとした		

大問1 解答・解説

No	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	仕入	73,000	買掛金	70,000
			現金	3,000
2	売掛金	90,000	売上	90,000
	発送費	2,000	現金	2,000
3	現金	4,000	現金過不足	4,000
4	仕入	55,000	当座預金	55,000
5	売掛金	100,000	売上	100,000
6	現金	100,000	売掛金	100,000
7	受取手形	120,000	売上	120,000
8	買掛金	50,000	電子記録債務	50,000
9	クレジット売掛金	14,400	売上	15,000
	支払手数料	600		
10	現金過不足	4,000	受取手数料	3,000
			雑益	1,000
11	現金	30,000	前受金	30,000
12	前受金	30,000	売上	150,000
	売掛金	120,000		
13	前払金	10,000	現金	10,000
14	仕入	90,000	前払金	10,000
			買掛金	80,000

- 引取運賃は仕入の定義に当てはまるため原価に加算する(73,000=70,000+3,000)
- 発送費は商品を売った後にかかる費用のため仕入に含めず、発送費(費用)として別に計上する
- 帳簿上より実際の現金が多い → 現金(資産)を増やし、相手科目として現金過不足を貸方に計上する
- 小切手を振り出す=当座預金からの支払いを約束すること → 当座預金(資産)が減り、仕入(費用)が発生する
- 「掛け」で売り上げた=代金は後払い → 売上(収益)が発生し、あとで受け取れる権利である売掛金(資産)が増える
- 売掛金を回収した=あとで受け取れる権利を果たしてもらった → 売掛金(資産)が減り、現金(資産)が増える
- 約束手形を受け取った=あとで代金をもらえる権利が発生 → 売上(収益)とともに受取手形(資産)が増える

8. 買掛金という後払いの義務を、電子記録債務という電子的な記録に切り替えただけ → 権利義務の中身は変わらない

9. $15,000 \times 4\% = 600$ を支払手数料として計上し、残りの差額14,400($15,000 - 600$)をクレジット売掛金として処理する

10. 現金過不足4,000円(貸方)のうち、3,000円は受取手数料の記帳漏れと判明 → 受取手数料(収益)を計上し、残り1,000円は原因不明のため雑益(収益)で処理する

11. 手付金を現金で受け取った=前受金(負債)が増える(あとで商品を渡す義務)

12. 商品を引き渡した=売上(収益)150,000円が発生。前受金30,000円を取り崩し、残額120,000円は掛け(売掛金)として計上

13. 手付金を現金で支払った=前払金(資産)が増える(あとで商品を受け取る権利)

14. 商品を受け取った=仕入(費用)90,000円が発生。前払金10,000円を取り崩し、残額80,000円は掛け(買掛金)として計上

大問2 複合・応用の仕訳にチャレンジ

次の取引を仕訳しなさい。貸借どちらかが2科目以上になる問題です。

No	取引	借方	貸方
1	商品90,000円を仕入れ、引取運賃3,000円とともに、現金50,000円を支払い、残額は掛けとした		
2	商品150,000円を売り上げ、代金のうち60,000円は現金で受け取り、残額は掛けとした		
3	得意先から売掛金120,000円を回収し、そのうち50,000円は現金で受け取り、残額は当座預金に入金された		
4	商品180,000円を仕入れ、代金のうち70,000円は小切手を振り出して支払い、残額は掛けとした		

大問2 解答・解説

No	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	仕入	93,000	現金	50,000
			買掛金	43,000
2	現金	60,000	売上	150,000
	売掛金	90,000		
3	現金	50,000	売掛金	120,000
	当座預金	70,000		
4	仕入	180,000	当座預金	70,000
			買掛金	110,000

1. 引取運賃を仕入原価に含め($93,000=90,000+3,000$)、支払った現金50,000を差し引いた残り43,000($93,000-50,000$)が買掛金になる
2. 現金で受け取った60,000円と、残額の売掛金90,000円($150,000-60,000$)をそれぞれ計上する
3. 回収した売掛金120,000のうち、現金で受け取った分と当座預金に入金された分をそれぞれ計上する
4. 小切手を振り出した70,000円は当座預金の減少、残額110,000円($180,000-70,000$)は買掛金の増加になる